



## 被災経験を活かした活動 地域防災に特化した取り組み

いのちを守ることや建物耐震の大切さを伝えて地域への貢献を図る

2000年鳥取県西部地震（震度6強）の記憶を忘れないため、被災経験を活かし、学校への防災出前授業や地域への防災ワークショップ、地域の防災イベントへの参加等を積極的に行うようになりました。

2010年にはその功績が認められ、「とっとり防災フェスタ2010」において青年・女性合同委員会が「平成22年度鳥取県自主防災組織等知事表彰」を受賞しました。現在鳥取県建築士会女性委員会は「鳥取県自主防災活動アドバイザー」として鳥取県に登録し、地域で開催される防災研修会や防災訓練等に年間5回程度、講師として派遣されるようになりました。

2016年鳥取県中部地震（震度6弱）を経験し防災意識が高まっている今、私たちにしかできないことを考えながら精力的に活動していきたいと考えています。

1992年 鳥取県建築士会女性委員会設立

2000年 鳥取県西部地震（震度6強 M7.3）

2007年 【防災出前授業】防災マップと紙ぶるるをつくってみよう！ 米子市立就徳小学校  
 【防災出前授業】紙ぶるる実践と防災マップをつくる！ 鳥取市立福部小学校  
 鳥取県総合防災訓練 緊急避難判定デモンストラーション実施 倉吉市  
 【防災出前授業】まちを歩いて防災マップをつくってみよう！ 倉吉市立成徳小学校  
 【住民参加WS】鹿野町まち歩き防災マップづくりと紙ぶるるをやってみよう 鳥取市鹿野町・環境大共催

2008年 【防災出前授業】紙ぶるるを作ってみよう！ 倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催  
 【住民参加WS】倉吉市立成徳地区防災マップ作り 倉吉市・鳥短大共催  
 【住民参加WS】倉吉市立成徳地区防災マップ作り Part2 倉吉市・鳥短大共催  
 【住民参加WS】琴浦町消防団と防災マップ作り 琴浦町  
 【住民参加WS】伊予共済会と防災ワークショップ 琴浦町  
 青年・女性建築士の集い中国ブロック鳥取大会開催 鳥取市（とりぎん文化会館）  
 今、私たちにできること ―地域防災と建築士―  
 【防災出前授業】防災カルタ「読み札」を作ってみよう 倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催  
 【住民参加WS】鳥取市三町内会合同自主防災訓練「紙ぶるる」  
 【防災出前授業】防災カルタ「絵札」を作ってみよう 倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催

2009年 【住民参加WS】鳥取市中央地区防災研修会 地域防災を学ぶ―地域―の家族―  
 【住民参加WS】琴浦町成徳地区保護者会 防災マップ作りを通して地域のつながりを見よう！  
 【防災出前授業】防災マップ作り 倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催  
 【防災出前授業】防災マップ作りタウンウォッチング 倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催  
 【防災出前授業】防災マップ作り 倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催  
 【防災出前授業】防災マップ作り 倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催

2010年 防災フェスタにて 知事表彰 授賞式出席  
 2011年 とっとりくらしの情報便 NIK 出演 くらし防災！  
 【一般講演会】原簿講演会 倉吉交流プラザ  
 【住民参加WS】松崎地区DIG 湯梨浜町  
 【見学会】鳥取県見学会

2012年 【防災出前授業】鳥取短大LUG 倉吉市  
 【出張講師】奈良県建築士会南多支部 下田小学校DIG 奈良県  
 【防災出前授業】倉吉市伝建地区おたすけマップ作り 倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催  
 【住民参加WS】倉吉市伝建地区おたすけマップ作り 倉吉市・鳥短大共催

2013年 新編資格者セミナー（中部）DIG 講師  
 全国女性建築士連絡協議会参加 東京都 全体会活動情報「DIGを用いた地域防災活動」  
 2014年 【出張講師】山口県建築士会女性委員会DIG 山口県山口市  
 【住民参加WS】法勝寺地区ワークショップDIG 南明町  
 【防災出前授業】吉田小学校ワークショップDIG 南宮町吉田小学校  
 2015年 【勉強会】第1回女性委員会セミナー「中国地方における行政の連携について」  
 【勉強会】防災研修 HUG体験

2016年 【住民参加WS】琴浦町立会ワークショップHUG 琴浦町  
 【勉強会】第1回女性委員会セミナー「鳥取県における地震災害に対する被災者支援の取組」  
 デザインコンペティション2016―地域特性を活かした防災型の復興住宅― 予選  
 鳥取県中部地震（震度6弱 M6.6）  
 【防災出前授業】八幡小学校ワークショップHUG 琴浦町立八幡小学校  
 デザインコンペティション2016―地域特性を活かした防災型の復興住宅― 本選  
 【住民参加WS】HUGLab 親子で避難所運営ゲームをやってみよう！講師 倉吉市  
 青年・女性建築士の集い中国ブロック鳥取大会開催（米子コンベンションセンター）  
 つなぐ 防災・・・建築士として何が出来るか！するべきか！！  
 【住民参加WS】琴浦町和問題懇談会（古布地区）避難所運営ゲームHUG 講師 琴浦町  
 【住民参加WS】小郷地区ワークショップDIG 講師 倉吉市  
 デザインコンペティション2017―地域特性を活かしたとっとり型復興住宅― 予選  
 【住民参加WS】琴浦町和問題懇談会（上郷地区）避難所運営ゲームHUG 講師 琴浦町  
 デザインコンペティション2017―地域特性を活かしたとっとり型復興住宅― 本選  
 【住民参加WS】第1回ワークショップDIG 琴浦町  
 鳥取県建築士会女性委員会 発祥25周年記念事業  
 鳥取県建築士会女性委員会活動報告と記念講演会  
 【住民参加WS】琴浦町和問題懇談会（下郷地区）避難所運営ゲームHUG 講師 琴浦町  
 【防災出前授業】三朝中学校ワークショップHUG 三朝町立三朝中学校  
 デザインコンペティション2018―地域特性を活かした空き家の利活用― 予選  
 【住民参加WS】琴浦町和問題懇談会（八郷地区）避難所運営ゲームHUG 講師 琴浦町  
 【住民参加WS】境港市外江地区ワークショップHUG 境港市  
 デザインコンペティション2018―地域特性を活かした空き家の利活用― 本選  
 【住民参加WS】琴浦町和問題懇談会（下郷地区）避難所運営ゲームHUG 講師 琴浦町  
 【住民参加WS】合在学ワークショップHUG 倉吉市  
 【防災出前授業】三朝中学校ワークショップHUG 三朝町立三朝中学校  
 【住民参加WS】中野福幸校HUGイベントブース出席 倉吉市  
 デザインコンペティション2019―地域特性を活かした空き家の利活用― 予選  
 【住民参加WS】米里地区ワークショップHUG 鳥取市  
 【住民参加WS】琴浦町和問題懇談会（浦安地区）避難所運営ゲームHUG 講師 琴浦町  
 デザインコンペティション2019―地域特性を活かした空き家の利活用― 本選  
 【住民参加WS】上郷公民館HUG 倉吉市

### ■松崎地区自主防災組織 DIG（2011年鳥取県湯梨浜町）



DIG（災害図上訓練）という手法を用いて、自分たちの住んでいるまちを防災の観点から再確認・共有するワークショップを行いました。地図上に災害時に有利な点不利な点を書き込み、実際災害が起こった時にまちや人がどのような状況になるのか予想します。

この地域は大雨による浸水冠水等水害が多く、津波の被害想定も大きく変更された地域です。通常地震をテーマに行っていますが、津波が発生した場合についても検討することになりました。①朝6時に地震が起きたらどうするのか。②津波警報が発令されたらどうするのか。という内容のDIGを行いました。

地図上で確認すると、独居のお年寄りが多い地域があったり、高い避難場所まで数分車で移動しないと行けない場所が多い等、地域としての課題を共有することができました。



### ■琴浦町同和問題懇談会（浦安地区）HUG（2019年鳥取県琴浦町）



HUG（避難所運営ゲーム）という手法を用いて、災害時自分たちが避難所運営をする立場になったらどうするのかを考えました。このゲームを通して災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出したり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。

実際鳥取県中部地震の時にも同じような場面があったと聞いています。障がいのある方や高齢者のみではなく、幼児連れ、ペット連れ、妊婦、内部障がいの方など部屋割りを考える時に配慮が必要な人がたくさんいることがわかりました。災害に備えて事前に考えておかなければならないことを再認識するワークショップになりました。

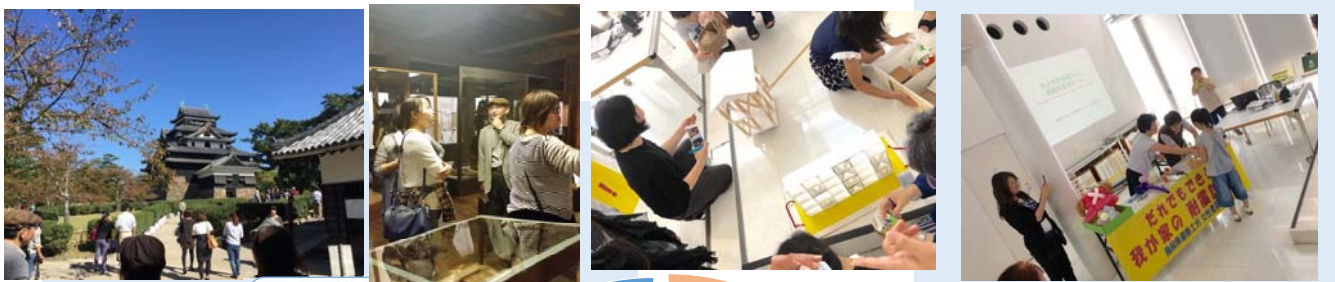


### ◆学生デザインコンペティション

2016年より県内の建築を学ぶ学生を対象に「デザインコンペティション」を年1回行っています。当初は災害に関連するテーマでしたが、近年は全国的な課題となっている空き家の利活用をテーマに鳥取県内全市町村の協力のもと、実際の空き家の利活用について提案をしています。学生にとっては、実際の建物を通して建築を学ぶ良い機会となっています。

2016年テーマ：地域特性を活かした提案型の復興住宅  
 2017年テーマ：地域特性を活かしたとっとり型復興住宅  
 2018・2019年テーマ：地域特性を活かした空き家の利活用





継 続 事 業	年 表
情 報 誌 「フフ」 季 刊 発 行	1995 ・岡山県建築士会女性部会設立 ・設立記念講演会（富田玲子氏） ・女性部会情報誌「フフ」創刊
	1997 ・全国女性建築士会連絡会岡山大会開催
	1997～2001 ・夏休み子供マップコンクール（第1回～4回）
	2004 ・岡山県建築士会女性部会設立10周年記念事業 公開シンポジウム
	2005 ・岡山県消費者生活センター（相談員）
	2006 ・リフォームアンケート実施 ・一般向け「リフォームセミナー」 「快適な住まいを考える」（全4回） ・一般向け「自然素材の壁紙体験」
	2007 ・青年・女性建築士の集い 中四国ブロック岡山大会開催 第4分科会担当 「くらしき天領のあかり今昔」 ・岡山県知事との座談会
	2008 ・建築士会全国大会徳島大会「連」 最優秀賞受賞 ・冊子「リフォームの手引き」 作成配布 ・熟年世代の住まいに関するアンケート実施 ・一般向け「熟年セミナー」開催 「今から考える熟年の住まい」（全4回） ・公民館出前講座 「住まいのリフォーム」 ・全国女性建築士連絡協議会 長野大会 分科会発表 「熟年セミナーを終えて」
	2010 ・女性部会15周年記念懇親会 ・「若い世代の暮らしと住まいに関するアンケート」実施 ★10年継続中古住宅アンケート開始 ・一般向け「中高年のためのリフォームセミナー」開催
	2012 ・一般向け「防災イベント」参加
2013 ・公民館出前講「安全な住まい」 ・一般向け「防災イベント」参加	
2014 ★一般向けリーフレット 「女性建築士eye's」創刊号発行 ・ワークショップイベントに出展 「みんなで遊べ場」	
2015 ・女性部会20周年記念講演会（前田圭介氏） ・出前講座岡山理科大学専門学校「女性建築士の現場」 ・岡山教育支援活動 メニューフェアに出展	
2016 ★お茶室勉強会-和の壺-開始 ・公民館出前講座 ・青年・女性建築士の集い 中四国ブロック岡山大会開催『伝統の継承』 ・全国女性建築士連絡協議会 奈良大会 分科会発表 「アンケートとリーフレットから伝えたいこと」	
2019 ★一般向けリフォーム冊子作成 「リフォームの手引き2019」 ・全国女性建築士連絡協議会 東京大会 分科会発表 「被災地報告 真備町」 ・女性部会25周年記念見学会 「錦帯橋技術継承者 海老崎泰次氏と巡る錦帯橋」 ・10年継続中古住宅アンケート完了	

# 新年のあゆみ

## お

### 10年継続アンケート

「中古住宅に関する意識調査」  
空き家や中古住宅の増加が問題になっている昨今、一般の方々にアンケートを行い調査して、その意識と有効な活用をさぐりたい！

- 性別・年齢
- 住まいの地域
- 現在の住まい
- 大切にしたいもの
- 中古住宅の価値
- 中古住宅購入のポイント
- 中古住宅リフォームの有無

#### ●トピック抜粋【第2回】

将来住まなくなる家をどうする？

#### 【結果】

- ・「売る・譲る」が全体の6割
- ・「貸す、住む」が全体の2割
- ・年代別の意識の差はほぼない



2019年度をもって完了しました。  
10年を経過して感じること。  
・設備は増加傾向  
・バリアフリー、耐震は減少傾向

### お茶室勉強会

～和の壺～

茶室が和の文化なら、その文化をまるごと感じてみよう！

県内各地の茶室を訪ねてその歴史やしつらえを勉強するとともに、和服を着て、客として待合、蹲踞（つくばい・手水鉢）、躰り口（にじりぐち）から茶室へ。  
床の間・お道具拝見、お手前拝見、菓子・抹茶をいただく、お道具拝見、あいさつなど体験しています。



勉強会を経験して和の文化に触せられ、着物の着付けを習う者、茶の作法に興味を持つ者、茶室のしつらえを勉強する者、と女性部会のメンバーは伝統文化を生活に取り入れています。  
この勉強会を始めて4年になります。（計6回）  
豊かな文化の感性を享受して、奥行きのある気づきへと繋げていくことができれば幸いです。

## か

## や

### リーフレット

岡山のぼっけえ女性建築士 eye's

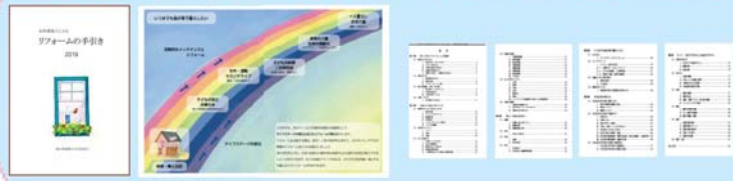
悪徳リフォームや欠陥住宅などの問題が目に見え、一般消費者への正しい建築情報提供をリーフレットにして提供したい！



少子化や空き家の増加が問題になっているが、新築への憧れは若い世代にも高い。家は「建てること」から始まり「住み続ける・住み継ぐこと」の大きさを多くの方々に知ってほしい！

### リフォーム冊子 2019

初版「リフォームの手引き」を発行して10年が経過しました。  
建築・設備は変化し、高齢化や空き家問題は深刻になり、冊子を現状に合わせて新たにすることにしました。



いつまでも我が家で暮らせる事を切に願って2019年版「リフォームの手引き」を作成しました。更に「リフォームの手引き」を使い一般の方を対象にしたセミナーを開く計画があります。この冊子を活用し今後も一般の方との連携を深め、更に大きな広がりを持って地域貢献に努めたいと考えています。





地震  
earthquake

地震  
earthquake



平成23年3月 東日本大震災  
被災地を訪れる

平成24年及び27年、石巻市を訪れ被災された方の話を聞く  
地震と津波の恐怖 被害の大きさ 避難生活の実情  
人々の思いは、未来にどこかで起こる災害の被害を最小限にするため  
この記憶を忘れず伝えたいということ  
災害を伝え次につなぐことの大切さ

DIG 建物耐震 防災グッズ 非常食  
様々な防災のこと

防災とひとことでも言っても その内容は多岐にわたる  
県内各地でのイベント参加や講習会の開催で  
起こるかもしれない災害を知り  
自分や大切な人を守るために必要なことをみんなで考える  
地域の人とともに考える



啓発 enlightenment enlightenment



豪雨  
heavy rainfall

豪雨  
heavy rainfall



平成26年8月豪雨 平成30年7月豪雨  
繰り返す土砂災害

もろい真砂土の土壌 山がちな地形の広島県では  
昔から豪雨による土砂災害が多い しかし  
自分が住む場所が危険か否かを認識している人がどれだけの  
現地調査や建築相談ボランティアを通じて考えさせられる  
命を守るために知らなくてはいけないこと



天災だけじゃない  
建物が人を守るための秘密あれこれ

いつ起こるか分からないのは建物火災も同じ  
いざという時 どう逃げるべきかを考えるため  
学校で 公共施設で  
建物に備わる防災設備を探しに行こう  
見つけて学ぶたても防災探検隊



探検 explore explore



## 2010年～2019年の活動内容紹介

2013年度研修会：鳥取県建築士会の方々に講師に来ていただきDIGの勉強会



2016年度研修会：菊竹清訓設計の火の山展望台の実測、模型作成（一年後に解体され現存しない）



2017年度研修会：藩校萩明倫学舎の歴史、改修についての講演会・見学、お正月リース作り



2018年度研修会：錦帯橋の歴史、構造についての講演会・見学、屋形船で鵜飼見物



2019年度交流会：大寧寺で坐禅体験・精進料理作法



毎月かわら版を発行  
2016年に200号達成



## 新年交流会

在籍会員が参加しやすい環境整備として、出産・育児や介護・看護中の方の士会活動への両立支援、一旦活動を休止した方のカムバック支援、更にいままで参加したことのない方へのきっかけ支援となるよう「建築セミナー+意見交換交流会」を新年毎に開催することとしました。講師や会場、見学地のセレクトに建築士目線でのこだわりを持つことで企画側も大いに楽しんでいきます。



## 勉強会

年間3回程度、勉強会を実施しています。住まい方アドバイザー近藤典子さんをお迎えした勉強会では、居心地のいい住空間を実現するための知識・考え方を教わりました。会員・一般の方合わせて180名が参加し、“住まう”ことをそれぞれの立場から考える時間となりました。

(右/徳島県神山町大埜地住宅見学会、左下/「徳島の魅力ある和の空間」勉強会、右下/近藤典子氏「片づく家の作り方」講演会。



## 建築見学会

年に1回、日帰りで行ける建築見学会を開催しています。1人では足を運びにくい土地だったり、団体でないと予約が取りづらかったりする建築を優先的に選んで企画するようにしています。(左下/徳島県三好市四国のへそ再考、右下/広島県尾道市リボンキャベル。



## 徳島県建築士会 男女参画委員会とは？

平成27年度をもって女性委員会を一旦解散し、男女の枠にとられない新しい形での女性建築士への支援活動を行うことを目的に平成30年度『男女参画委員会』を立ち上げました。名称のとおり男性会員も参加しています。建築士としての自己研鑽は勿論ですが「楽しい」「参加したくなる」を主眼とした建築士支援活動を展開しています。



## 全国女性建築士連絡協議会活動報告

平成31年度、令和元年度と2年連続して分科会での発表をさせて頂きました。全建女で得た情報を地元会員へフィードバックするため、報告会も実施しています。



## コラボ企画

県内の他団体・他協会とのコラボレーション企画も実施しています。お互いに情報交換や連携を図ることで、より幅広い活動が展開できることを目的としています。(テーブルコーディネイトレッスン。)



## 女性建築士継続事業

### LED光のイルミネーション

12月～3月にかけて、公園や保育園・幼稚園に、園児が描いたイラストを入れて作ったLED照明を飾っています。



### お菓子の家づくり

建築とは何か？、建築と災害との関係性についてなど、お菓子の家を作りながら楽しく建築を学んでもらいます。



# あーきてくちや会 アーキテクチャ + 茶話会

2016年(平成28年度)より、会員活発化・会員拡大を目的とし、社会活動が活発でない会員や活動を紹介したい会員外の方がお一人で参加いただいてもその参加場面で交流しやすい事を心がけ、茶話会となる時間を含めた事業「あーきてくちや会」を開始。参加きっかけとなる基軸事業と位置づけた。



アーキテクチャ

研鑽しつ

交流しつ

香川の建築女子



■あーきてくちや会

[2016]

第1回『数寄屋建築で学ぶおもてなしのお花 渡邊邸』五室の茶室と「鯉魚庵」名席六室をもつ渡邊邸で見学といけ花体験、ランチ会を実施。(渡邊邸:魅力ある和の空間WEB掲載)

第2回『庭のある暮らし』イングリッシュガーデンの学習会とアフタヌーンティを体験し暮らしの提案を学ぶ。

[2017]

第3回『オリジナル形漆豆皿製作体験 讃岐漆芸美術館』讃岐漆芸の三技法のひとつ『彫漆』を学ぶ目的で企画し、製作したオリジナル豆皿は体験後の茶話会で、お菓子皿として使用した。

第4回『栗林公園散策とお茶室体験』香川を代表する観光名所をガドさんの案内と用意した資料を元に散策し、日暮亭で茶席体験を実施。

[2018]

第5回『古き良き木造建築と茶庭を巡る歩く 扇町』戦火を逃れ時代を経ても新しくて美しい高松市では貴重な町屋建築と茶庭を見学。大切に守り続ける方々の想いも素晴らしい。

第6回『たどつ まち歩き 合田邸』多度津藩城下町として始まった歴史深い多度津町でまち歩きと「多度津七福神」と言われた豪商の合田邸を見学。(合田邸:魅力ある和の空間WEB掲載)

[2019]

第7回『和の伝統技術 左官体験』左官職人さんをお呼びして、伝統技法から新しい工法や材料や塗り方などを教えていただき、左官体験を実施。

第8回『建築セミナー&食事交流会』県内外で活躍の商環境デザイナー香川真二氏をお招きしセミナーと施工店舗での食事交流会を企画。

■その他 2016-2019

2018青年・女性 中四国ブロック大会が香川幹事県である為、そこへ照準を合わせ事業内容、スケジュール、情報発信、スタッフを募る作業等々を実施し、あーきてくちや会もその一つとして開始。

2016 定例会(隔月開催)

〃 委員会より女性会員へメールでの情報発信を開始

〃 女性・西讃青年合同 建築見学バスツアー 神戸淡路 伊弉諾神社・日本真珠会館他

2017 建築セミナー・食事交流会 建築家 長田慶太氏

2018 青年・女性 中四国ブロック香川大会 大会テーマ「分岐点」 幹事県開催

〃 建築見学 津山「歴史的建築物の活用による地方創生シンポジウム」、奈義町現代美術館

2019 女性・西讃青年合同 建築見学バスツアー 大阪 太陽の塔・堺筋 小西家住宅



香川県 委員会のあゆみ 2020年30周年

1990	女性委員会設立	
1990-2001	中島照子 女性委員長 (1991 中四国ブロック香川大会) (2000 中四国ブロック香川大会) (2003-2004 中四国ブロック連合委員)	
2002-2006	川口洋子	(2005 全国女性建築士連絡協議会 香川大会)
2006-2009	杉本三枝	(2009 中四国ブロック香川大会)
2010-2011	佐藤好美	
2012-2015	池田幸代	
2016-2019	村上良枝	(2018 中四国ブロック香川大会) (2019-2020 中四国ブロック連合委員)
2020-	都留悠葉	委員: 藤本たけみ・横田里美・中野万寿子・菅野美穂・安藤真由美・都留悠葉・十河智恵・橋本和子・藤田真子・新井千鳥・須生亜希・宮西あかり・谷野友香・安部知寿美・秋山藍華

香川

4つの継続的な勉強会等を中心に委員会活動を展開しています。

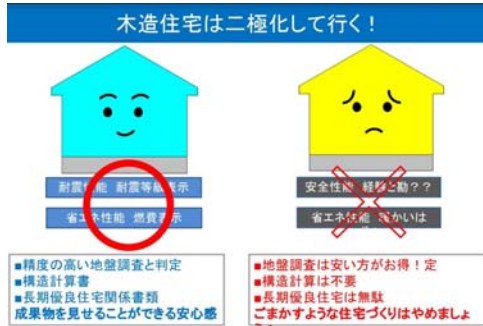
## ①スキルアップセミナー

専門知識の向上目的に

2018

表題  
地震に負けない家造り

講師  
株式会社  
M's構造設計主宰  
佐藤実



2020

表題  
茶室を学ぶ

講師  
花岡直樹建築事務所  
花岡 直樹

愛媛県松山市 八東邸にて



## ②県内見学会

まだまだ知らない県内を探索

2018

南予地方散策

愛媛県最南端「高茂岬」



石垣の里からの瀬戸内海の眺め



40番札所 観自在寺

2019

東予地方散策

日暮別邸にて



愛媛県新居浜市 あかがねミュージアム



## ③異業種勉強会

建築士以外のプロに学ぶ機会を

2018

表題  
福祉セミナー  
視聴覚障害

セミナー風景



2020

表題  
福祉セミナー  
講師  
理学療法士 吉武

卓球療法 体験



## ④暮らし+ 勉強会

何気ない暮らしの中に潤いを

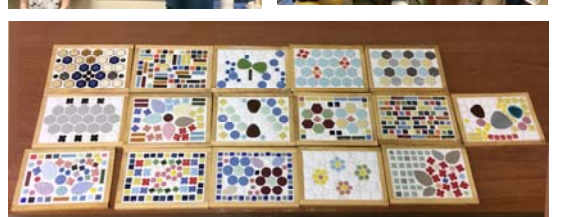
2018

カルトナージュ  
体験講座



2020

モザイクタイル  
コースター作り





## とさっ子タウン10年の取り組み

### とさっ子タウンとは…

ドイツ・ミュンヘン発祥の“こどものまち”を元にした、夏の2日間だけ高知に現れる架空のまちです。2009年から毎年開催をし、昨年で11年目を迎えました。

就労体験や遊び、学びを通して社会を知るイベントで、小学4年から中学3年までを対象に約400人が参加します。

運営事務局はNPO高知市民会議が担い、実行委員会は、学生（高校、大学生）と社会人で構成しています。

「高知ならではの仕事・文化の体験」「異年齢間コミュニケーション」「社会の仕組みを知る」という目的を掲げています。



### まちでできること

こども達はこのまちでまず仕事を選びます。そして働いて、給料をもらいます。給料の使い道は自由で、買い物をして楽しんだり、銀行に預けることももて、貯金したお金で自分の店を開いたり。もちろん税金も納めます。

ここではこのまちについて話し合う「議会」も開かれます。とさっ子市民は議員や市長を選ぶことで「選挙」という仕組みにもふれ、協力しながら自分たちのまちをつかっていくことができます。



ハローワークで仕事を選ぶ様子

仕事はプロから教わりながら体験

### 建築士会の関わり

我々は、参加するすべての人に「建築」の楽しさや意義を伝えることを目的に、第2回より連続10年専門家として関わってきました。

こどもたちは、ハローワークで50種類ほどある仕事の中から、消防署員や警察官お医者さんなどさまざまな仕事に就きます。

建築士会では、「建築デザイナー」という仕事を担当し、毎年異なるテーマで、こどもたちに、デザイン・模型作成を通して、建築士の仕事を体験してもらう取り組みをしています。

コンクールを通してとさっ子市民が審査し、優秀賞、最優秀賞を選びます。最優秀作品は実際に翌年のまちに建設されます！



①紙芝居で建築士とはどのような仕事か学びます。

②新しく建てる建物や工作物の現地調査、聞き取りをし、調査結果をもとに、デザインを行います。

③約90分で模型まで作成します。

### 完成！



④模型完成！テーマが同じでも、ひとりひとり違う、個性的な作品ができあがります。



⑤コンクール開催！こども達が投票します。



2016年のテーマ「フードコート」空間デザイン



⑥最優秀作品は、実際に翌年のまちに建設されます！

### 10年の取り組みの成果

元々、単調な段ボールのまちからスタートした「とさっ子タウン」は、デザインコンクールで選ばれた作品が毎年建設されて、彩りが加えられることによって、年を追うごとに豊かなまち並みになってきました。

この10年で、市民だった少年は、建築に興味を持ち、市民を卒業した今は学生スタッフとして手伝いに来てくれています。他にも建築を志し大学に進学した学生スタッフもあらわれました。

「とさっ子タウン」において、建築を通じた「まちづくり」「ひとづくり」の目的も実りを結んできました。これからも、建築の楽しさや意義を伝え続けていきます。



まちにだけ込む、とさっ子建築士たちの受賞作品！

毎年アルバムを作成

2013年とさっ子市民最優秀賞受賞！

2018年スタッフ参加

### その他の活動

#### 【いたわり住宅研究会】



1995年より活動を開始し、ハンディーキャップのある方のための住宅についての勉強会、見学会などを開催しています。

現在は、毎月第4土曜日に、高知市中心商店街にて相談窓口を設けています。

#### 【地域での防災活動】



地域の住民と防災活動を行っています。

- ・避難訓練
- ・逃げ地図
- ・DIG(災害国上演習)
- ・HUG(避難所運営ゲーム)などを地域に出て実践しています。

#### 【新春会】



毎年、会員の親睦と異業種交流、会員の増強を目的に女性のみの新春会を開催しています。30名程度の参加があり、講演や会食で楽しい時間を過ごします。